

国際協力に関する取り組み

国際協力業務を通じて、ノウハウや経験を提供しています

当事業がこれまで蓄積した小規模事業者への融資審査ノウハウや経験を共有することで、開発途上国をはじめとした国々の支援を行っています。

ODA(政府開発援助)による開発途上国支援

ODA(政府開発援助)による開発途上国に対する技術協力として、当事業がこれまで蓄積してきた小規模事業者への融資審査ノウハウを共有することによって、現地の金融機関が抱える課題の克服を支援しています。具体的には、財務省財務総合政策研究所と協力して、現地や日本において、中小企業金融分野に関するセミナーなどを実施しています。これまで、ベトナム、マレーシア、ラオス、ミャンマー及びカンボジアに対する技術協力を行ってまいりました。ここでは、カンボジア中小企業銀行に対する技術協力の概要を紹介します。

ーカンボジア中小企業銀行(SME Bank of Cambodia)への技術協力ー

令和5年6月、カンボジアの国有銀行であるカンボジア中小企業銀行(SME Bank of Cambodia)に対する技術協力プロジェクトを開始しました。カンボジア現地で開催した第1回セミナーでは、同行の職員に対し、日本の中小企業金融、日本公庫の組織概要、当事業の融資審査の特徴などに関する講義を実施しました。受講生からは、政策金融のあり方や当事業の融資審査手法について数多くの質問があり、演習にも積極的に取り組む姿勢が見られるなど、大変活況なセミナーとなりました。

その後も、カンボジア現地での創業支援にかかるセミナーを開催したほか、令和6年5月にはカンボジア中小企業銀行の役職員向けに日本招聘セミナーを開催しました。同セミナーでは、各専門部署からの講義や関係機関への訪問を通じ、日本公庫の中小企業支援の実情について理解を深めていただきました。

今後、カンボジアと日本でのセミナー開催やディスカッションなどを通じ、カンボジアの中小企業金融分野における支援を行っていく予定です。



カンボジアでのセミナーの様子(プノンペン)



日本招聘セミナーを開催

国際協力に関する取り組み

海外政府機関等との意見交換会の開催

現在、多くの国で中小企業・小規模事業者の育成は重要政策の一つとして位置付けられています。当事業ではこれまで培った中小企業金融分野におけるノウハウや経験を活かし、こうした分野に関心の高い海外政府機関等と意見交換を行っています。

ーラオス商工省中小企業振興局との意見交換会ー

当事業ではラオス商工省中小企業振興局と、両国の中小企業振興を目的に、令和5年7月から、これまで計3回の意見交換会を実施しています。意見交換会では両国の中小企業支援にかかる取組みなどを紹介し、活発な質疑応答が行われるなど、充実した情報交換の機会となっています。

ラオス商工省中小企業振興局とは、今後も両国の中小企業・小規模事業者の発展、成長に向けた意見交換を継続して実施する予定です。



ラオス商工省中小企業振興局との意見交換会の様子(オンライン開催)

海外からの視察団受け入れ

開発途上国をはじめとして、日本の経験を学ぼうと毎年数多くの国々から視察団が来日しています。当事業では、JICAなどが主催する研修事業の一環として視察に来られる海外の政府関係機関の方々に対し、当事業の歴史、業務概要、融資制度や各種取組みなどに関する講義を実施しています。



視察団に対する講義風景